

令和4年度日本小児外科学会
第4回定例理事会議事録

日 時：令和5年1月16日（月）11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス+WEB

出席者（大阪大学東京オフィス）：

奥山宏臣（理事長・会長）、小野 滋（副理事長）、浮山越史、大植孝治、
田中 潔、瀧本康史、米田光宏（以上理事）、黒田達夫、山高篤行（以上監事）、
上原秀一郎（財務会計委員長）、柴田晶子、仁田尾慶太（以上事務局）

出席者（WEB）：

田尻達郎（理事・次期会長）、石橋広樹、内田広夫（以上理事）、照井慶太（庶務委員長）、藤野明浩（庶務副委員長）、浦尾正彦（財務会計副委員長）、
神山雅史（庶務委員）

13:00～14:00

木下義晶（施設認定委員会委員長）、岡島英明（専門医認定委員会委員長）、
古村 眞（専門制度庶務委員会委員長）

15:00～16:00

野田卓男（第38回秋季シンポジウム会長）、臼井規朗（第39回秋季シンポジウム会長）

議事案件

- 1.第4回定例理事会の議事録署名人は、田中 潔理事・石橋広樹理事とした。
- 2.令和4年度第3回定例理事会議事録につき、一部文言の修正を加えて、全会一致にて承認された。

3.審議事項

1)第60回学術集会について(奥山会長)

奥山会長より資料に基づき、現在の進捗状況が報告された。

会期： 2023年6月1日（木）～6月3日（土）

会場： 大阪国際会議場

テーマ： All is well!～次世代へのエール～

- ・演題登録は終了し、1月中に査読を終了する予定であることが報告された。
- ・査読で倫理審査に不備があるものに関しては倫理委員会でのチェックを受ける予定であることが報告された。
- ・現地開催+Live 配信を予定しており、チャットの導入については検討中であることが報告された。
- ・学会企画に保険診療委員会の企画を追加する予定であることが報告された。
- ・小児救急医学会とのジョイントセッションの公募について確認することが報告された。

- ・会長招宴及び懇親会の開催予定について報告された。

2)第 61 回学術集会について(田尻次期会長)

田尻次期会長より、準備状況が報告された。

会期： 2024 年 5 月 29 日 (水) ~5 月 31 日 (金)

会場： ヒルトン福岡シーホーク

テーマ： 真の QOL 向上を目指して

- ・次回理事会でポスターを提出することが報告された。
- ・現地開催プラス視聴のみのライブ配信を予定していること、ディスカッション希望者は現地参加となることが報告された。

3)第 38 回秋季シンポジウムについて(野田前秋季シンポジウム会長)

野田前秋季シンポジウム会長より、参加者数等が報告され、承認された。

4)第 39 回秋季シンポジウムについて(臼井秋季シンポジウム会長)

臼井秋季シンポジウム会長より進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和 5 年 10 月 28 日 (土)

会場：九州大学百年講堂

テーマ：小児外科領域における感染症対策

- ・開催形式は COVID-19 の感染状況に関わらずハイブリッドとし、座長と演者は原則として現地参加とすることが報告された。
- ・ワークライフバランスセミナーの枠を確保することが確認された。
- ・ホームページを 1 月中に公開することが報告された。

5)第 40 回秋季シンポジウムについて(田中次期秋季シンポジウム会長)

田中次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告された。

日時：令和 6 年 10 月 26 日 (土)

会場：一橋講堂

テーマ：少子化時代における小児外科医育成

6)第 41 回秋季シンポジウムについて(奥山理事長)

奥山理事長より、第 41 回秋季シンポジウム会長に大植孝治先生が就任されたことが報告された。大植次々期秋季シンポジウム会長より、資料に基づき進捗状況が報告された。

日時：令和 7 年 11 月 1 日 (土)

会場：千里ライフサイエンスセンター

テーマ：新生児外科疾患の長期フォローにおける問題点

6)各種委員会報告および審議事項

(1)庶務委員会(照井委員長)

- ・照井委員長より、資料に基づき報告された。2022年12月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,665名(うち海外2名)、準会員29名、評議員307名、名誉会員55名(うち海外8名)、特別会員66名(うち海外1名)、賛助会員1団体(2口)の合計2,122名+1団体である。
- ・特別会員の浅倉 義弘先生の訃報は仁尾 正記先生に執筆していただくこと、名誉会員の武藤 輝一先生の訃報は、機関誌委員会から新潟大学の木下 義晶先生に執筆者をご推薦いただくよう依頼することが報告された。

(2)財務会計委員会(上原委員長)

上原委員長より、資料に基づき報告された。

- ・2022年12月14日に学会支援機構で中間決算書の確認を行ったと報告され、例年通りの執行状況で健全な財政状況であることが報告された。
- ・学会支援機構の会員管理費が2023年4月1日から値上げすることが報告され、承認された。
- ・学会支援機構の定期刊行物(学会誌・抄録集・会報等)の発送手数料、刊行物等在庫廃棄の際の断裁料および発送を伴わない入庫の際の検品料が2023年1月1日から値上げすることが報告され、承認された。

(3)専門医制度委員会(木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長)

木下施設認定委員会委員長、岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・2022年9月14日、11月20日に開催された専門医認定委員会で専門医・指導医審査が行われたことが報告された。
- ・2022年11月20日に専門医筆記試験が行われたことが報告された。
- ・2023年度の筆記試験は11月19日に予定していることが報告された。
- ・2022年12月19日に行われた外科+外科6サブスペと日本専門医機構の面談について報告された。
- ・2023年2月6日の日本専門医機構との面談には岡島専門医認定委員会委員長、古村専門医制度庶務委員会委員長が出席する予定であることが報告された。
- ・第60回学術集会で新専門医制度についての説明の場を設けてほしいとの要望があり、承認された。

(4)機関誌委員会(大植担当理事)

大植担当理事より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

- ・動画投稿について、PDF で投稿し、動画 URL を埋め込む形にすることが報告され、承認された。
- ・投稿規定に動画投稿に関する規定を追加することが報告され、承認された。
- ・優秀論文賞は理事長から、PSI は会長から授与すること、PSI の賞状は学術集会事務局で準備するが、賞金は優秀論文賞・PSI 賞ともに学会事務局から振り込むことが確認された。

(5)国際・広報委員会(淵本担当理事)

淵本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

- ・第 31 回日本医学会に提出するパネル（ポスター）作成状況について報告された。
- ・英語 HP は日本外科学会に倣って作成を進めていることが報告された。学会設立日は第 1 回学術集会在開催された 1964 年 6 月 15 日とし、法人化した日付は NPO 法人設立日、一般社団法人設立日 2019 年 4 月 19 日を記載する。歴代理事は小児外科学会の日本語ページに倣う。会員数は評議員数・正会員数・特別会員数とすることが承認された。
- ・特殊ミルク「明治 721（必須脂肪酸強化 MCT フォーミュラ）」のオークションサイト出品について報告された。

(6)保険診療委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、令和 6 年度診療報酬改定にむけた外保連への要望について報告され、承認された。

(7)教育委員会(内田担当理事)

内田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・PSJM2 日目である令和 4 年 10 月 28 日（金）に開催された第 13 回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・令和 5 年 7 月 30 日（日）に完全 web で開催される第 38 回卒後教育セミナーについて報告された。
- ・第 38 回卒後教育セミナー終了後に全 web で開催される第 14 回小児内視鏡外科手術セミナーについて報告された。
- ・PR ビデオ作成について、株式会社プルークスに委託すること、1 月 11 日（水）にキックオフミーティングを開催したことが報告された。PR ビデオで使用するキャッチコピーについて、良い案があれば内田理事または井上委員長に連絡するよう求められた。
- ・E-learning について、外科学会のシステム見直しが来年 2 月の運用開始を目標に行われているため、外科学会からの連絡を待っている状況であることが報告された

- ・日本医学会から各分科会で作成している用語集に関して調査があり、当学会が作成した用語集は無く、日本外科学会発行の外科学用語集の使用を推奨していると回答したことが報告された。

(8)悪性腫瘍委員会(大植担当理事)

大植担当理事より資料に基づき、第 60 回学術集会で「小児悪性固形腫瘍登録の成果と未来」というタイトルで悪性腫瘍委員会報告を行ってから、学会誌に掲載する予定であることが報告された。

(9)学術・先進医療検討委員会(米田担当理事)

米田担当理事より口頭で、短腸症の難病申請にむけた重症度の学会承認について委員会で審議中であることが報告された。

(10)倫理・医療安全管理委員会(石橋担当理事)

石橋担当理事より、今回特に審議事項・報告事項がない旨述べられた。

(11)データベース委員会(田中担当理事)

田中担当理事より口頭で以下の点について報告され、承認された。

- ・2022 年度は NCD の複数領域のデータを用いた研究について応募がなかったことが報告された。
- ・同様の状況になった場合、過去の応募者に応募を打診することが提案された。
- ・2023 年度の小児外科単体の NCD データを用いた研究について報告された。

(12)小児救急検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・「外科系小児救急受け入れ状況 2022 年」について報告された。
- ・2022 年 12 月 14 日に開催された第 2 回門田班臨床外科グループメンバー会議について報告された。
- ・小児救急検討委員会 2022 年度アンケート調査について報告された。

(13)トランジション検討委員会(田中担当理事)

田中担当理事より「外科疾患を有する児の成人期移行についてのガイドブック(第 2 版)」・サマリーが小児外科学会 HP の会員向けページに掲載されていることが報告された。一般の方にも閲覧可能な形にすることが求められ、了承された。

(14)ワークライフバランス検討委員会(浮山担当理事)

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告され、承認された。

- ・2022年10月の秋季シンポジウム、PSJMにおいて開催されたワークライフバランス検討委員会主催・日本医師会女性医師支援センター共催 海堂尊氏講演会について報告された。
- ・日本医師会の女性医師サポートセンター「医学生、研修医等をサポートするための会」への共催申請について報告された。
- ・2021年12月に施行した「ハラスメントに関するアンケート調査」の結果について、理事会に報告することが承認された。

(15)規約委員会(石橋担当理事)

石橋担当理事より、今回特に審議事項・報告事項がない旨述べられた。

(16)研究倫理委員会(石橋担当理事)

石橋担当理事より、今回特に審議事項・報告事項がない旨述べられた。

(17)NCD連絡委員会(淵本担当理事)

淵本担当理事より資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・「小児外科 NCD 登録の QandA (ポイント 20)」について報告された。
- ・NCD 入力データの監査 (Audit) について、施設を絞ること、ワーキンググループの人数を増やすこと、委員会内にリーダーとサブリーダーを作り、委員会全体で動くことを検討していることが報告された。
- ・ユーザー向け術式対応表 (全 NCD 術式について、小児外科術式カテゴリを反映させた一覧票) について報告された。
- ・アニュアルレポートの修正について報告された。
- ・リスクカリキュレーターアンケートについて報告された。
- ・厚労科研「小児外科における新型コロナウイルス感染の影響に関する NCD データ解析研究」について報告された。

(18)ガイドライン委員会(米田担当理事)

米田担当理事より、資料に基づき報告された。

- ・小児外科診療に関連するガイドラインについての審査について報告された。
- ・腸回転異常症診療ガイドラインについて、11月に企画会議を開催する予定であることが報告された。
- ・小児外科診療に関する学会主導ガイドライン作成あるいは協力について、「腸回転異常症診療ガイドライン」と「小児胃軸捻転症診療ガイドライン」の進捗状況が報告された。
- ・学会ホームページ掲載ガイドライン集の更新予定について報告された。

- ・第 123 回日本外科学会定期学術集会（2023 年 4 月）上級セッション「より高く、より遙かへ」-「ガイドライン診療の検証」に、演題『希少小児外科疾患診療ガイドラインの効能・限界とその先について』を提出中であることが報告された。
- ・日本外科学会「外科学用語集 Web 版」の改変要望について、『胃軸捻（症）』胃軸捻転〔症〕を新たに追加で決定したことが報告された。また、『イレウス』腸閉塞への修正については継続審議中であることが報告された。
- ・過去に作成された小児外科関連ガイドラインの更新について、改訂の時期が来た時に作成当時のチームが存続していれば良いが、解散していた場合の学会のスタンスについて理事会の意見が求められた。ガイドライン委員会からリストを提出していただき、理事会のスタンスを検討していくことが承認された。

(19)利益相反委員会(奥山理事長)

奥山理事長より、今回特に審議事項・報告事項がない旨述べられた。

(20)医薬品・医療機器検討委員会(内田担当理事)

内田担当理事より、資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・リンパ管疾患に対して保険適応となったラパリムス錠について報告された。
- ・大建中湯のヒルシュスプルング病、ヒルシュスプルング病類縁疾患を適応とする要望について報告された。
- ・冷凍焼灼装置の特定医療機器要望書に関して、要望内容を委員会で検討し、日本形成外科学会と連携して要望書を提出する方向で検討中であることが報告された。
- ・1 月 27 日に開催される AMED 医薬品等規制調和・評価研究事業「小児医薬品の早期実用化と国際連携に資するレギュラトリーサイエンス研究」全体班会議・小児関連学会代表委員情報交換会に和田基委員長が参加予定であることが報告された。

(21)総合調整委員会(小野委員長)

小野委員長より、資料に基づき、以下の点について報告された。

- ・2022 年 12 月 5 日に開催された令和 4 年度第 3 回総合調整委員会について報告された。
- ・Twitter や Facebook などの SNS 学会公式アカウント作成について検討中であることが報告された。

(22)日本外科学会理事会(田尻前理事長)

田尻前理事長より、学術集会のあり方について継続審議となっていること、外科学会でも SNS の活用を検討していること、炎上等のリスクも考慮した上で、5 月以降に開始予定であることなどが報告された。

- ・2024 年の小児外科領域の上級演題が決定次第、報告することが述べられた。

(23)四者協関連(奥山理事長)

奥山理事長より、1月17日に開催されるため、後日改めて報告すると述べられた。

(24)選挙管理委員会（照井第26回評議員選挙管理委員会委員長）

照井委員長より資料に基づき、以下の点について報告、承認された。

- ・2023年1月20日に開催された選挙管理委員会について報告された。
- ・提出された役員選挙の公示文書が提示された。
- ・奥山理事長に非選挙理事推薦委員会メンバーの推薦が依頼された。

4.報告事項

1)理事長報告(奥山理事長)

- (1) 国際医学情報センターからの寄贈本「あいみつく vol.43-1」を受領した。
- (2) 日本乳癌学会からの寄贈本「創立30周年記念誌」を受領した。
- (3) 難病医学研究財団からの寄贈本「難病研究財団ニュース」を受領した。
- (4) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.396」を受領した。
- (5) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.397」を受領した。
- (6) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.197」を受領した。
- (7) 難病のこども支援全国ネットワークからの寄贈本「がんばれ！ Vol.198」を受領した。
- (8) 日本医療機器産業連合会からの寄贈本「透明性ガイドラインパンフレット 改定版」を受領した。
- (9) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER 2023年1月号」を受領した。
- (10) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「JQ 医療安全管理者養成研修」を受領した。
- (11) 2022年12月13日に開催されたNCD理事会・社員総会の資料が提示された。
- (12) 令和5年度“こども家庭庁”にむけての要望書について、第60回学術集会で講演していただく野田聖子議員を通じて提出したことが報告された。野田議員、こども家庭庁担当大臣と2月に面談する予定であることが報告された。

2)次回定例理事会日程の確認(奥山理事長)

次回定例理事会は令和5年3月7日(月)11:00~16:00 大阪大学東京オフィスにて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____